



結び

平成17年度卒	高木 哲
出身	関市立旭ヶ丘中学校

『礼儀』

▶ 本校を選んだ理由

私は、中学校時代本当はラグビーに興味があって関商工を目指していましたが、お金がめちゃくちゃかかる話を聞いて、強くもないサッカー部に入部しました。サッカーは好きだし、就職率・進学率が高いと聞く関商工を選びました。

▶ サッカー部の思い出・3年間で得た事

サッカー部の思い出と言えば、市川先生が赴任したことです。自分が1年生の頃は、練習着は体操服しかダメ、練習はせずに集まった人数で試合をするといった具合のサッカー部でした。どこかに遠征へ行くとか他校と練習試合をする機会はなかった部活でしたが、2年生の頃、市川先生が赴任され、当初20人（2年生）ぐらいいた部員は、5名くらいになり、一瞬にして退部されました。当時は、私自身も辞めるか辞めないかで本当に悩みました。サッカー部を通して得た事は、準備・片付けの大切さです。草まみれの片倉グラウンドの草抜きや石拾いをして、ボールは数を数えて揃えて片付けました。当時の関商工は岐阜県リーグ3部に所属していましたが、2部昇格を決めました。

▶ 現在の近況報告

関商工高校卒業後、岐阜商工信用組合（金融機関）に入組し、15年6ヶ月の勤務にて8店舗を経験し、支店長代理まで上り詰めましたが、一念発起し現在は後輩である三木田社長（平成18年度）の会社である有限会社ファインクラフトに勤めています。

数年後、2人で山に籠って究極の包丁を作りたいと考えています。現在とはとにかく毎日楽しい一日を過ごしています。

▶ 現役生に対して激励

コロナ渦の中全てにおいて、やりにくい学生生活だと思います。けど、そんな中でも楽しいコトがきっとあるんじゃないかな？と思います。部活動で言えば、成果・功績に向けて努力されていると思います。けど僕自身社会に出て思うことは、成果・功績ばかりじゃなく、その過程の中で得た事が一番大事な気がしています。それは、準備だったり、片付けであったり、友達であったり、礼儀だったり、あいさつだったり。サッカーがしたい気持ちがあって、サッカーが出来る環境があるなら、がむしゃらにサッカーをして楽しんで下さい！！

▶ 未来の部員へのメッセージ

関商工は、とにかく気持ちが良い挨拶を伝統として続けられています。その結果なのか社会に出ていくと、「どこの高校だったの？」って会話が結構出てきます。「関商工」って答えると感触はいいですよ。部活動にも熱心な学校なので、部員との結束力は大人になっても生きてくると思います。勉強・礼儀・挨拶・仲間が獲得できる伝統ある学校です。是非サッカー部の体験から足を運んでみてはどうでしょう？

